



FKC

The

Furano Kotobuki College Times



富良野市教育委員会学びのまち推進課学びのまち推進係

電話 0167-39-2318

文責：上 用 眞一郎

富良野市ことぶき大学特別講義

～ 先が見えない不安な未来への心の処方箋 ～続編（最終章）

人生 100 年時代のリアル（現実）とリアリティ（現実感）の先へ

公立大学法人 旭川市立大学保健福祉部

コミュニティ福祉学科 教授 木下 一雄

私たちにとって良い人生とは、良い出会いと体験にあると思います。

青い空、白い雲、夏空の下、7月30日（水）、ことぶき大学夏の研修は、「旭川市立大学一日体験学習」でした。

3班に分かれての施設見学から学校紹介、そして学食体験、午後からのことぶき大学特別講義を受けることができました。主任の金村さんをはじめ、職員の皆さん方の丁寧な対応に私を始めことぶき大学の学生た



ち、大変心地よい一日を過ごすことができました。

令和8年には、新しい学部「地域創造デザイン学部（仮称）」が設置され、現在新校舎が建築中でした。「地域に根ざし、地域を拓き、地域に開かれた大学」という理念を掲げており、地域社会への貢献を重視しています。三浦綾子記念文学館との包括協定など、文化・教育面での連携も進めていますとのことでした。

さて、午後からの講義が始まりました。木下先生の準備していただいたテー



マは、「先が見えない不安な未来への心の処方箋続編・最終章」そしてサブテーマが“人生 100 年時代のリアル（現実）とリアリティ（現実感）の先へ”…この**先**がこのサマーセミナーの目標です！！

①コロナ禍が明けた後の世界（現在）

- ・人との関わりに不安を持つ人の増加
- ・不安や悩みを相談できない
- ・プライドから素直になれない
- ・孤独感や不安感・無気力・切れやすい高齢者

②新たな社会が構築されていく中で

- ・対面を避けオンライン・スマホ・SNS の中で生きる…

※エコーチェンバー現象

- ・ネットや SNS で自分と似た趣味や関心を持つ人とは関わらず、同じような意見ばかりに触れるようになり、自分の考えが正しいと信じてしまう現象

③仮想空間が自分の居場所 = 五感のない世界

- ・インターネットやスマホの世界こそ現実
- ・生きている実感がなく、共感できず、幸福感を感じることができない…

④人生 100 年時代の新たな基準 ⇒何歳まで生きても安心な社会

- ・地域で支えられ、適切な支援がなされる社会になりつつある・生きる意味や社会での役割を見出しつつある・健康寿命も延びつつある

⑤人は**自分の可能性を追求**する

- ・学び直し⇒生き抜く力が高まる
- ・多様なコミュニティが広がる⇒人との関わりの中で居場所や役割を見出す

⑥**新しいことに挑戦**できる時代

- ・何を大切に生きていくか自問自答する
- ・学びの形も多様化、ものの見方や考え方も学び直す時

⑦これまでにない**新しい価値観**を受容、時代の変化に柔軟 ⇒新しい発想でどんな課題にでも今までの常識にとらわれず、**創造的に乗り越えていける**人が幸せをつかむことができる

⑧今までの延長線上にもあり延長線上になくても**新しい自分への旅**が始まる！

⑨就職のため、お金のためでない「**学び**」こそ**心の魂を輝かせる学び** ⇒**自己投資**

⑩好奇心を持って、可能性を追求する人生！！健康寿命もアップ！！

- ・社会参加…「やりたいことを楽しく」「続けることを目的としない」（続けるが目的ではない。何のために続けるのか、本質を見極めて行動すること）
- ・楽しく、ゆるく人と繋がるのが大切 ⇒ 浅く、広く、多様な居心地の良い関係を持つ！！

左①～⑩は、木下先生の講義資料から引用させていただきました。

木下先生がこの日のために、準備されたこの一文字一文字がとてもインパクトがある言葉です。

◎**本当に大切な一度きりの人生の探し物を見つけに行きましょう！**

この言葉から講義がはじまります。資料はとても字が大きく読みやすく、とても丁寧です。そして何よりも、木下先生の言葉には、希望に溢れています。

先行きが不透明であれば、先行きを照らす光が必要です。それは希望を持つことだと思います。

希望は子どもたちだけのものではありません。

私たち高齢者だって、高齢者だからこそとても大切なものです。木下先生の話しが進むうちに私たちの心は軽くなり、そして心が温かくなり、そして心が熱くなってくる。希望で熱くなるのを感じます。

ことぶき大学の学生一同、これからも「好奇心をもって、可能性を追及していきます！！」と心新たに思っています。

「人生 100 年時代のリアルとリアリティの先へ」、この先とは、新しい自分への旅であり、心の魂を輝かせる学びだと、木下先生から学びまし



た。木下先生には、また来年もお願いしたいものです。学食も最高に良い体験でした。

美味しくいただきました。



不安はことぶき大学の仲間と共有！今できることは今しかできない！木下先生の講義を受けて、皆さん心がとても軽くなったようで、ウキウキして大変元気でした。

帰りに「きばなの杜」に寄りました。私は、初めてでしたが、二階には小さな図書館になっており、ちょっと面白そうな本が並んでいました。



池田さんは何を読んでいるのでしょうか。佐藤さんと後藤さんは何を話しているのでしょうか。ソフトやアイスを食べ、コーヒーと甘いものも食べて、家族にお土産も買いました。

帰りのバスの中では、随分盛り上がりました。春の研修と同様、今回もしっかり、皆さんからの“おやつ”の差し入れをいただきました。皆さんの気配りに感謝です。

今日は、良い出会いと体験、そしてコミュニケーションを深めることができました。

あらためて、旭川市立大学三上学長をはじめ、職員の皆さんに感謝を申し上げます。ありがとうございました。今後とも富良野市ことぶき大学をよろしくお願いいたします。



8月6日（水曜日）本日の日程

当番学年：大学院1年、研究生、第2研究生1

9時から文化会館 AB にて会場準備をします。

◎ 8月6日（水）全日：複合庁舎文化会館会議室 AB で開催です。

（9時30分 朝の集い）

AM：文学の散歩道 その3

芥川龍之介のその3です。彼の生と死について、一旦、これまでのまとめをします。彼の言う「ぼんやりとした不安」とは何か。前回の木下先生の講義で、新しい発見や解釈ができるかも知れません。お楽しみに！

PM1：コーラス（リハーサル室）リズムダンス（会議室 AB）

PM2：学年（課題）別研究（会議室 AB）

夏の俳句講座

◇富良野ことぶき大学
あじさいの大輪ゆらす風の音
両瀬 篤子
小蟻ども庭のあちこち穴を掘る
近田 行雄



今年2回目の俳句講座が7月23日（水）文化会館 AB で開催されました。エアコンも効いていて気持ちよく俳句づくりが行われました。

道新の「読者の広場」には、久しぶりにことぶき大学の作品も掲載されました。

本科1年両瀬さん、本科4年近田さんの句です。

この俳句講座、年5回ありますが、皆さんの作品は随時、事務局で受け付けております。メール、LINE、郵送、手渡し、電話による口頭でも結構です。

自分だけの一句を募集しています。

連絡

令和7年度三市町芸能発表交流会の日程が変更になりました。

変更前 10月17日（金）

変更後 10月16日（木）12時30分スタート

今年度の三市町芸能発表交流会の当番校は、上富良野町いしずえ大学ですが、会場の都合で一日繰り上がり、10月16日の午後12時30分スタートとの連絡がありました。

午前中にリハーサルをし、昼食を済ませてからバスにて上富良野町に行く予定ですが、詳細につきまして、後日連絡します。

市立富良野図書館には楽しい本が一杯！

昼の休憩時、最近は図書館です。勤務場所が図書館ですから恵まれています。

各種新刊コーナーから夏を楽しくコーナーなど盛り沢山ですし、ホームページでは貸出ランキングや予約ランキングなどもあります。今まで知らなかったこと、楽しい本との出会いが一杯です。

是非、皆さんも来館され、ポイントカードを貯めませんか！？

